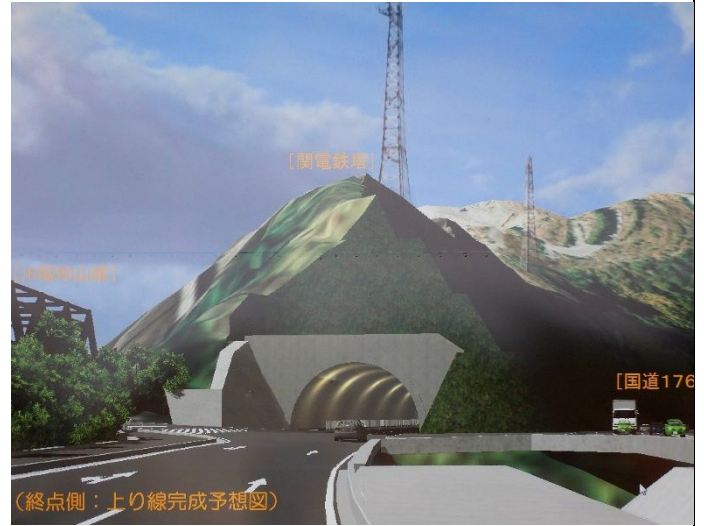




青葉台地区の現況 2021年9月21日



トンネル完成予想図



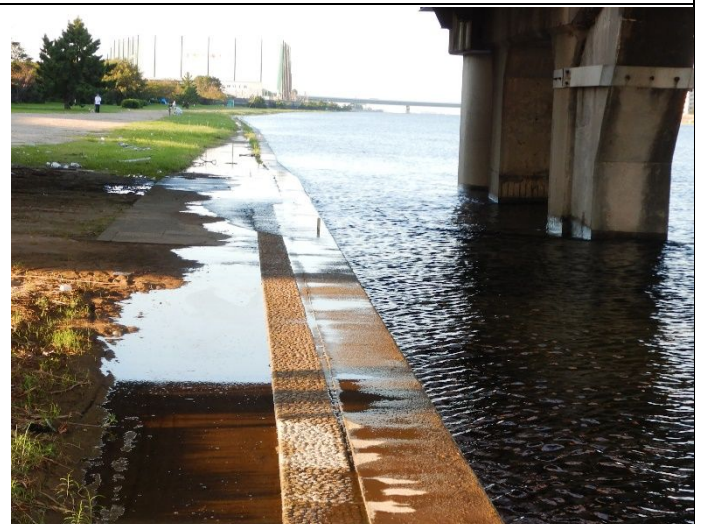
宝塚水管橋から見た生瀬 2021年9月21日



解体進む旧宝塚ホテル 2021年9月21日



小曾根付近の砂州 2021年9月21日



大潮満潮時の南武橋 2021年9月21日

迷走台風 14 号が西日本を縦断した。武庫川流域は直撃を免れ被害をもたらすことなく通過。工事直後の生瀬橋付近の様子が気になったが、工事直後の人工的な河床もチョットした増水が自然に馴染ませた。人間如何に手を加えようと自然の力には及ばないことを感じさせられた。青葉台地区の河川内の工事は豊水期で止まり景觀に変化は見られない。城山トンネル工事は着々と進行しているようで、工事現場に大きな完成予想図が掲げられ完成イメージが掴みやすくなった。上下線が分離される。信号機が描かれていないので分からないが走行ルートも変わるような感じがして、有馬道分岐に立っていたお地藏さんも移転し大多田川との合流点付近は大きく様変わりするだろう。

宝塚市水管橋から見た武庫川は平穏そのもので何時もの景色と変わらない。しかし宝塚ホテルの解体工事が進み新聞紙上でも話題になった、ホテルのイメージツリーの大桶の取り扱いが気になる。

小曾根付近の寄り洲は何か大きくなってきたような感じがする。感覚通りなら武庫川の土砂堆積スピードは人間の感覚で捉えられるくらい早く天井川化は避けられないのだろうか。南部橋から下流にかけての高水敷は大潮満潮時には高潮で洗われる。(当日の満潮位 1.69m 阪神橋梁水位 1.8m) 河川流量より潮位の影響が大きそう。